

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
卒業研究Ⅱ				塩見 直紀	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	4年次	演習	※「専門研究」から 持ち上がり	
授業の概要 (Course Description)					
この演習は卒業論文の作成を目的とする。卒業論文のテーマは、各自の関心分野、めざす就職先（起業含）や描く人生像に基づいて決めるが、「まちづくり」「移住施策」「交流（ツーリズム）」「地域資源発掘」「コンセプトメイク」「社会起業／コミュニティビジネス」「ソーシャルデザイン」「ローカルメディア」「持続可能なライフスタイル」等に関するテーマが望ましい。演習は各自の進捗報告と質疑応答を中心に進める。					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自の研究テーマについての資料・文献を収集できること 2. 研究テーマに関して課題を整理し、小さくとも新しい発見、視点を世に提示すること。（卒業論文を執筆し、研究成果を報告する） 					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	研究テーマおよび論点の確認				
第 2 回	先行研究の整理、章構成 1				
第 3 回	先行研究の整理、章構成 2				
第 4 回	先行研究の整理、章構成 3				
第 5 回	先行研究の整理、章構成 4				
第 6 回	先行研究の整理、章構成 5				
第 7 回	先行研究の整理、章構成 6				
第 8 回	先行研究の整理、章構成 7				
第 9 回	先行研究の整理、章構成 8				
第 10 回	論文執筆 1				
第 11 回	論文執筆 2				
第 12 回	論文執筆 3				
第 13 回	論文執筆 4				
第 14 回	論文執筆 5				
第 15 回	論文執筆 6				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
思索を重ねること。					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への取り組み姿勢 (20%) 最終成果物 (80%)	秀:情報収集・分析に秀で、問題点を論理的・客観的に把握し、首尾一貫した論理的な報告発表ができる。 優:情報収集・分析を適切に行い、問題点を把握し、首尾一貫した論旨の報告・発表ができる。 良:一定の情報収集・分析ができ、問題点を把握して、その報告発表ができる。 可:情報収集・分析をして、その成果につき、一定の発表ができる。 不可:情報収集が不十分で、報告発表の内容が不十分である。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	個別に紹介する。
備 考 (Other Information)	欠席厳禁
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メール (conceptforx@gmail.com) で連絡すること。